

農学研究科 農芸化学専攻

内定先企業：メルシャン株式会社

就活はESで落とされ面接で落とされ、自分を否定されることの連続で暗くなるなという方が無理な話だと思います。ですが、自分をより深く知り、「社会に出て働きたい」という意欲を自分の中に見つけることが出来る点も就活の良い所だと感じました。私は講座などへ全く参加せず対策を立てるのが本当に遅かったため、ESも面接も実際に受けながら学習していくという有様で、事前にちゃんと用意をしていれば…という失敗もありました。その代わりに、一度した失敗は二度と繰り返さないと決め、反省を次に生かすことを心掛けました。参考までに、私の就活の流れを以下に記します。

就職活動の流れ

10、11月 リクナビなどの就職活動サイトに登録。ESが書けず、数社の締切を見送る。
12月 説明会やwebテストが始まる。この時期に研究概要や自己PRなどの添削を、先生や先輩方にお願ひしました。

1月 ESの提出が本格化し、毎日が締切日。ちなみに、1月に提出したESは9割落ちました。

2、3月 ESが通り出すが、一次面接やGDの壁が越えられず、また自分が研究職向きなのか営業職向きなのか分からなくなり、自己分析に苦しんだ時期です。説明会や選考が毎日入り、また学会発表があったため実験もしなければならず、一番忙しい時期でした。

4月 選考ペースが落ち着き、また研究室で最高学年になったせいも、それまでの比にならない位焦りました。また就活がTAの業務に支障をきたすこともあり、スケジュール管理が大変でした。

5月 上旬に内定先の企業から内定を頂くことができ、第一志望だったのでそこで就活を終えることが出来ました。

就活を通して「縁」のある会社に巡り合うことは出来ると思います。ですがそれに頼るのではなく、大事なはその会社に出会うまでにちゃんと準備をしてきたかどうかだと感じました。ESや面接は誰しも落ちますが、その経験は必ず自分の糧になります。その経験を生かして進んでください。応援しています！